

Linuxを使ってみよう

「Linuxを使うのは難しい」と思い込んでいませんか。Windowsを利用しているユーザーであれば、Linuxの操作はさほど難しくありません。第1章では、ハードディスクにインストールしなくても利用できる「KNOPPIX」を使って、Linuxの使い方を一通り説明します。

パソコン用のOSでは、マイクロソフトのWindowsが広く使われています。ほとんどの読者は利用経験があるでしょう。

これから紹介するLinuxについては、どのような印象をお持ちですか。「興味はあるけど、難しそう」という人が多いように思います。しかし、Windowsユーザーなら、最初のきっかけさえつかめれば、すぐにLinuxを使えるようになります。

今回は、パソコンのハードディスクにインストールしなくても使える「KNOPPIX」というLinuxディストリビューション*(以下、ディストリビューション)を付録メディア(付録DVD-ROM)に収録しました。パソコンにこの付録メディアをセットして起動すれば、すぐにLinuxが使えます。

Part1では、KNOPPIXを利用して、起動からインターネット接続、データ保存、話題の3Dデスクトップの使い方までを一気に紹介します。

光ディスクから起動できる KNOPPIX

KNOPPIXには主に、CD-ROM版とDVD-ROM版の2種類があります。いずれもパソコンの光学ドライブにセットして電源を入れる(あるいは再起動する)だけで、ハードウェアを自動認識してLinuxシステムが使えるようになります。

Linuxでも、Windowsと同じように、ハードディスクにインストールして使うタイプが主流です。ただ、KNOPPIXのように1枚の光ディスクから起動して使えるタイプは、Linuxを体験するにはとても便利なディストリビューションです。その上、KNOPPIXはお試しのディストリビューションというわけではありません。光ディスクと一緒にUSBメモリーを用いれば、システム設定や作成したファイルを簡単に

持ち歩くことができます(詳細は後述します)。パソコンさえあれば、どこでも自分のシステム環境を再現できるのです。

またKNOPPIXは、トラブルでハードディスクからパソコンが起動できなくなったときに、緊急用のレスキューOSとして利用することもできます。

なお、付録メディアはDVD-ROMですが、今回はKNOPPIX 5.1.1のCD-ROM版を収録しました。もう一つのディストリビューション「Fedora 7」については第2章と第3章で紹介します。

Linux を起動する

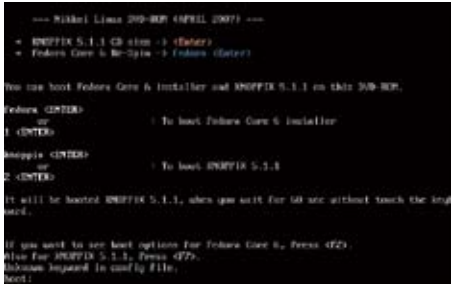
まずは、付録メディアを使ってKNOPPIXを起動してみましょう。付録メディアをパソコンにセットして電源を投入すると、写真1の画面が表示されます*1。これがKNOPPIXを起動(ブート)できるブート画面です。

ブート画面が表示されたら、Enterキーを押します。すると、KNOPPIXのスタート画面が表示され、しばらく待つとデスクトップ画面(写真2)に変わって、起動は完了です。

BIOSの設定に注意

Windowsが起動してしまう場合は、BIOSと呼ばれる、パソコンのマザーボードを制御するためのプログラムの設定を変更しましょう。電源投入直後にDelキーやF2キーなどを押すと、設定画面が表示されるはずですが、パソコンによって具体的な設定方法は異なりますが、一般に「Boot」という起動ドライブ(Boot Device)の項目で、「CDROM」(もしくは「CD-ROM」)の優先順位を「HDD」より上げておけばOKです(p.23

(a)



(b)

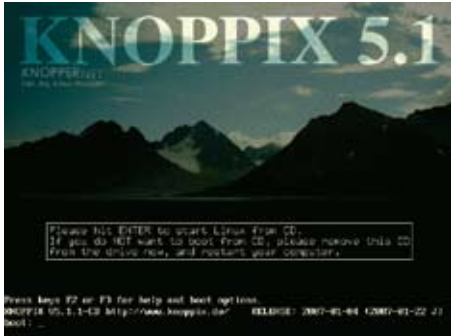


写真1 付録メディアとKNOPPIXのブート画面
付録メディアをドライブにセットしてパソコンを起動すると(a)の画面が表示される。ここでF7キーを押せば、本来のKNOPPIXのブート画面(b)に切り替わる。

の別掲記事「起動の際の注意点」を参照)。

デスクトップの構成

Linuxのデスクトップ画面は、「統合デスクトップ環境」と呼ばれるアプリケーションが、マウスによる操作などに必要な各種機能を提供しています。多くのディストリビューションが、デスクトップ環境に「GNOME」あるいは「KDE」を採用しています。

KNOPPIXは、KDEを採用しています。GNOMEを利用した別のディストリビューション(写真3、写真はFedora 7)と比較すると、デザインやアイコンの配置が異なることが分かります。ディストリビューションによっては、インストール時にGNOMEとKDEのいずれかを指定したり、または両方をインストールして起動時に選択できたりします。

デスクトップ画面はディストリビューションごとにカスタマイズされていることもあります。それでも、KDE同士、またはGNOME同士なら大まかなデザインや構造などとても似ているので、操作に戸惑うことは少ないでしょう。

では、p.10の図1を見ながら、KNOPPIXのデスクトップに



写真2 KNOPPIXのデスクトップ
KNOPPIXの起動が完了するとデスクトップが表示される。



写真3 Fedora 7のデスクトップ
GNOMEを利用した場合。

ある各アイコンやアイテムの名称と機能を理解しましょう。

画面下にアイコンが並んでいる部分は、「パネル」です。パネルはWindowsのタスク・バーのような機能を備えています。

パネルの左側にある2つのアイコンは、Windowsの「スタートボタン」のようにクリックするとポップアップされたメニューが表示されます。ここからアプリケーションの起動や設定画面の表示、KNOPPIXの終了などができます。☰のメニューは「KDEメニュー」または「Kメニュー」、☰は「KNOPPIXメニュー」と呼びます。

統合ブラウザのKonqueror

それでは、実際にアプリケーションを起動してみましょう。パネルの🌐をクリックすると、「Konqueror」が起動します。Windowsのファイル・マネージャ「エクスプローラ」と同

【Linux ディストリビューション】 Linux OS の配布形態。起動するためのシステムやインストーラなどを1つにまとめたもの(詳細は pp.16-22 で解説)。

* 1 付録メディアは、「KNOPPIX」と「Fedora 7のインストーラ」を切り替えて起動できるようになっている。そのため、ブート画面は通常のKNOPPIXとは異なる。